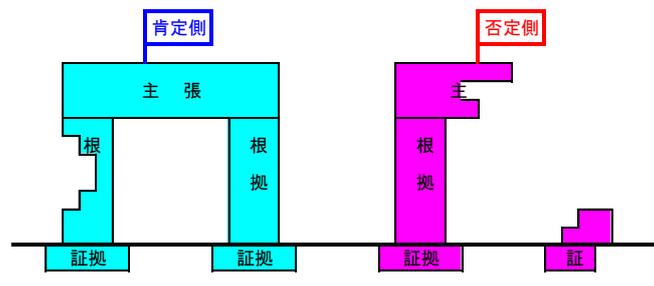


サマリー（比較） …「我々は勝利した!!」

ジャッジにうまくアピールする方法は？



- ・立論は Advantage (AD, メリット) と Disadvantage (DA デメリット) でできている。
- ・それぞれの AD, DA は 3 要素(現状説明, 発生過程, 重要性/深刻性)からできている。
- ・3 要素は 質×量×確率 で大きさが表される。
- ・その大きさは、どのような基準を用いるかで、大きくも小さくもなる。

1. サマリー（比較）の方法

(1) 肯定側

Advantage > Disadvantage となること、そしてその理由を述べる。

(2) 否定側

Advantage < Disadvantage となること、そしてその理由を述べる。

2. サマリー（比較）の構成

① 相手チームの議論 (AD/DA) をどう評価すべきかを要約

相手チームが立論で出した議論がアタックで弱まり、弱い議論となっていることをアピール。

② 自分たちのチームの議論 (AD/DA) をどう評価すべきかを要約

自分たちが立論で出した議論が、ディフェンスの結果、最終的に強い議論となっていることをアピール。

③ 全体の比較

相手の議論を最大限に評価しても、どうして自分たちの議論の強さが上回っている、ということ、理由をつけて述べる。

3. サマリー（比較）では、アタックとディフェンスを繰り返すだけではなく 評価してほしいポイントを示す。

- (1) 高校生のディベートでは、サマリーでアタック、ディフェンスを繰り返すことが多い。
しかし、サマリーでジャッジが一番聞きたいのは「比較」である。
- (2) 上手く「比較」をすると、ディベートの試合で勝つ可能性が一気に高くなる。
必ず比較をしよう。
- (3) 実際、ディベートの全国大会でも、サマリーで勝負が決する試合はとても多い。

サマリー(比較)に挑戦！(別紙ワークシート)

1. 自分たちの AD/DA が、どういう「基準・視点」で相手を上回っているかを考える。
DA/AD を比較するには基準・視点がある！

主な評価の基準・視点	
a. 数	(Number/Quantity)
b. 継続時間	(Time Duration)
c. 緊急性	(Time Emergency)
d. 頻度	(Frequency)
e. 質	(Quality)

2. 比較の「基準・視点」を意識したサマリーのフォーマット例

(南山女子高校教諭 中島正喜『究極の選択！』より引用)

a. 数(Number/Quantity)による比較

- ・この試合では、私たち肯定側が勝ちます。
- ・なぜなら『数』という点において、私たちの方が勝っているからです。
- ・ADでは、アジアの全ての人々が利益を得ますが、DAでは小さな町の人全てにしか影響を与えません。
- ・従って、明らかに利益を受ける人と不利益を被る人の数の比較において、私たちが勝っています。

b. 継続時間(Time Duration)による比較

- ・この試合では、私たち肯定側が勝ちます。
- ・なぜなら『継続時間』という点に関して私たちのADの方が彼らのDAより勝っているからです。
- ・もしプランを採用すれば、私たちのADは永遠に続きます。しかしながら、DAの影響はたった1ヶ月しか続きません。
- ・従って、DAよりADの方が重要です。

c. 緊急性(Time Emergency)

- ・この試合では、私たち否定側が勝ちます。
- ・なぜなら、私たちのDAのほうが、『緊急性』という観点でADに勝っているからです。
- ・DAはプランを採用した直後に現れますが、ADは政府がプランを採用してから100年して現れます。
- ・従って、私たちのDAがADより深刻です。

d. 頻度(Frequency)

- ・この試合では、私たちはADとDAを『頻度』という観点から比較したいと思います。
- ・始めに、ADは500年に一度起きます。一方、DAは毎週起こります。
- ・その結果、DAはADより深刻だと言えます。
- ・従って、私たちのDAがADより深刻です。

e. 質(Quality)

- ・このディベートでは、私たち肯定側が勝ちます。
- ・それは『質』という観点で、ADはDAより重要だからです。
- ・彼らのDAでは、たとえ私たちがプランを採用しても、お金もちの人々が少しのお金を失うだけですが、ADではプラン採用後、飢えや病気で瀕死の子どもたちを救うことができます。
- ・従って、このプランを採用すべきです。